

## redhat6.2jのインストール

### 1. インストールの準備

#### PCMCIA起動FDの作成

Win98のDOS窓でredhat6.2jのCD-ROMからPCMCIA起動FDを作成します。

```
c:¥> z: [enter]          z : はCD-ROMドライブ
z:¥> cd ¥dosutils [enter]
z:¥dosutils> rawrite [enter]
Enter Disk image source file name: ..¥images¥pcmcia.img [enter]
Enter Target diskette drive: a: [enter]
please insert a formatted diskette into drive A: and press Enter: [enter]
```

先頭が8GB以内にある空き領域を確保します。

市販ソフトのPartition Commanderなどを使うと便利です。

例：C:FAT32 4GB(Win98) 11GBからサイズ変更

空き 3GB(Linux)

D:FAT32 4GB

USB-FDD Emulationをenableにする (詳細SS3440マニュアル参照)

ついでにMouse/keyboardもEmulationをenableにしました。...根拠なし

### 2. インストール(PanasonicXXL-810AN...SCSI)

#### 【Welcome to Redhat Linux6.2j】

PCMCIA起動FDからboot:textとしテキストモードで起動します。

boot:[enter]だとGUIモードでインストールしようとしませんが、xwindow画面が真っ白になりインストールを続行できません。

#### 【Language Selection】

インストールで使用する言語はEnglishとします。

japaneseでは文字化けがでます。

#### 【Keyboard Selection】

jp106

#### 【Installation Type】

Install Custom System

#### 【Disk Setup】

Disk Druidを選択する (Fdiskよりもこちらがpartition設定が簡単)

/ hda3 3072MB指定 format指定

SWAP hda4 127MB指定

#### 【LILO Configuration】

Use Linear Mode のチェックマークをはずす

インストール先を/dev/hda...MBRとしWin98とのデュアルブートを可能にする

デフォルトのブートをF2キーでlinuxからDOSにかえる

#### 【Host Name】

ホスト名を指定する。例:SS3440

#### 【Network Configuration】

例

IP address:192.168.0.21

Netmask :255.255.255.0

Default gateway:192.168.0.1  
Primary name server:プロバイダ指定のDNS

**【Mouse Selection】**

使用のマウスに合わせて指定する。  
Generic 3Bottumn Mouse

**【Timezone Selection】**

Asia Tokyo

**【Root Password】**

rootでログインするときのパスワードを指定する。  
(忘れるとログインできません)

**【Add User】**

Telnet等はrootでログインできないので最低自分自身を登録する

**【Authentication Configuration】**

OK(変更しない)

**【Package Group Selection】**

インストールするパッケージを選択する

**【X probe Results】**

Video Card:Trident Cyber 9525(generic)  
X Server :SVGA  
OK

**【format及びpackageインストール開始】**

終了まで約15分

**【Boot Disk】**

USB接続FDを認識できないようなのでboot FDの作成はあきらめます。

**【Monitor Setup】**

Custom

**【Custom Monitor Setup】**

指定内容は以下です。  
Custom Setupで以下を指定したら動きました。  
Non-Interlaced SVGA,1024x768@60Hz,800x600@72Hz  
50-70(垂直同期)  
Don't Probe(精細度)  
2MB (Videp Memory)  
No Clock Setting  
Skip(Probe for Clock)  
16Bit 1024x768(精細度)

これでXWindowが立ち上がりインストールが終了です。

**3. インストール後の再起動**

kud zu(hardware Discovery Utility)がMatsushita KME CD-ROM07

を取り外されたと誤検出します。...kuzuの問題か？  
接続されたままなのでKeep Configurationを指定します。

USBマウスは (Microsoft Intellimouse)動作するようです。  
USB-FDは動作しません。  
APA-1460 + KXL-810AN(CD-ROM)は動作します。  
内蔵LANアダプターは動作します。

PCカードスロット1 (上段) にAPA-1460を入れるとstarting pcmciaで  
フリーズします。ロット0 (下段) なら問題ないようです。

#### 4. ULTRA-ATA66の設定

HDDはUltraATA66ですがLinuxのデフォルトでは16でしか動かないようです。  
hdpram -d1 -x86 /dev/hda  
で設定します。